

# 未来の長浜市を創造するまちづくり委員会

## 産業分科会 議事録

報告日 平成21年 5月19日

日時	平成21年 5月18日(月) 18:00 ~ 20:00		
場所	長浜市役所 別館4階第3会議室		
議題	産業を切り口としたフリートーキング		
出席者	吉川富雄会長、村上宣雄副会長、伊藤兵一郎委員、阪本重光委員、吉田豊委員、国友隆房委員、塚田益司委員、松井京美委員、嶋崎善弘委員、森田義人委員、松本長治委員、稲田司委員		
市	分科会事務局 商工振興課 大塚義之、小谷勝也		
6町	高月町地域振興課職員、木之本町まちづくり課職員		
傍聴者	あり(人)・なし	報道機関	あり( )・なし

### 【協議結果】

- ① 今回はフリートークのため決定事項等はなし。  
次回からはテーマを設け議論をすることとなった。
- ② 次回日程とテーマ
  - ・ 次回日程 6月29日(月) 18:00~
  - ・ 次回開催場所 「長浜市役所別館4階第3会議室」
  - ・ 次回テーマ 「観光交流産業の振興について」
- ③ その他
  - ・ 次回分科会では、市の観光施策にかかる説明が必要となったため、観光振興課へ(職員の出席)を要請する。

### 【主な意見】 (要点列記)

- A 委員 この会は、日頃思っておられることを気楽に話していただく場。ご意見を聴かせていただき、それを集約することで目的を達成していきたいと思っている。1回目は産業・観光全般にわたってフリーで話し合っていたきたい。
- B 委員 この地域にある産業のおかげで雇用が創出され、今までは人口が流出することがほとんどなかった。今後は、既存産業をどう守っていくかが大切で、その姿勢を見て新しい企業も安心して長浜に進出していただけることになり、その結果、人口の流出を防ぐことにつながる。  
就労機会の拡大は非常に重要であり、合併基本計画にあがっている主要な施策の5番目ではなく、1番目にもっていくべき議題であると考えている。  
私の住む湖北町は、農業地がその面積のほとんどを占めるため、発展してこなかった。それは、農地法の関係で企業を誘致できなかったため、新市では

特例等を設けるなどして誘致できるようにしていただきたい。

- C 委員 雇用の創出は、産業・工場に寄与するところが非常に大きい。昔のように景気が上向きであれば夢も語れるが、現状ではそうはいかない。たとえ景気が戻ったとしても、製造業が昔のように元気に戻れるかというところではないと思う。例えば、トヨタは大型車から小型車に路線を変更しており、それによって収益性もかなり減ってくると想像できる。県内には製造業が多いが、雇用の創出をこのまま製造業に頼っていいのか、それとも新しい産業にシフトしていったほうがいいのか、そういったことから考えていかなければならない。
- 加えて、市域を大きく見たときに、どの地域が工場に適しているか、農業に適しているか、観光に適しているかといったように、それぞれの特色を生かした用途を考えていくべきだと思う。進出していただく企業にも、来訪者にもそのほうがわかりやすい。
- D 委員 この会では、財源がないからできないとかという堅い話は抜きにして、みなさんがどのようなまちづくりをしていきたいのか、理想でも構わないので意見を出していただき、その中から実現可能なものを探っていくほうが、活発に意見が出るのではないかと。各地域の自慢話での良いので、気楽な形で意見を出し、議論していただきたい。
- E 委員 今日はフリートークなのでそれで良いが、最終的には現実を見据えたうえで結論を出していかなければならない。ただ、今日1日だけはフリートークということで、思っていることを話していただけたら良いし、反論等もしない。次回からは違うと思ったことに対しては意見を言わせていただくこともある。
- F 委員 産業という大きなテーマではなかなか意見が出にくい。個別のテーマに絞って議論し、その都度まとめていく方法でないと話がまとまらないし、結論も出てこない。
- A 委員 今回は初回ということでフリートークにしているが、テーマは5つある。次回からはテーマごとに議論していただきたいと思っている。
- E 委員 新たな取り組みや今までにない商品を開発するなどに対する支援策を行政には求めていきたい。
- D 委員 合併すると面積が県内1位、人口が2位になるなど大きな市になる。例えば、観光面ではこれまでの長浜市にはなかった、余呉や西浅井などの自然を取り入れて滞在型観光を推進するなど、大きな土地を有効的に生かす方法を考えていかなければならない。今回の合併は編入という方法になるが、新しい市をみんなで作るんだという思いを持って、気楽な気持ちでアイデアを出していただきたいと思う。
- G 委員 会社をなんのためにやっているのかと聞かれば、雇用を創出するためであり、そこに住んでいる人の食べていく糧を確保するためである。就労機会の拡大というテーマで1本筋を通したうえで、観光、農業へとテーマを移していったほうが話しやすいと思う。そういうバックボーンがないと議論が拡散してしまう恐れがある。

- C 委員 定住人口を確立するには、食べていく糧とするために仕事が必要だが、それプラス、いきいきと暮らす、魅力があるといった“長浜おもしろいよね”と思われるような付加価値も必要である。合併して全市域をすべて同じようにとはできないが、小学校単位ぐらいで特色が出るようなイメージ、役割分担をしてまちづくりを考えていってはどうか、その結果全体としてまとまりが出てくると思う。
- H 委員 現在農業を営んでいる。農業だけでは食べていけないというイメージが定着しているが、それだけで食べていける産業に育てていくべきで、実際にそうなりつつある。今まではあまり注目されていなかったが、これからは十分注目できる産業のひとつになると思う。観光面でネットワーク化を図るといったことが基本計画にあがっているが、観光だけでなく、あらゆる面においてネットワーク化をしていかなければ、それぞれの地域の良さを生かすことができない。地域の特色を生かした、自立できる産業を新市で創出していくべきと考える。
- I 委員 産業は、最低限の生活をするために必要なもの。木之本には、北国街道や北国脇往還、観音さんなど良いところがたくさんあるが、人口の減少が大きな問題となっている。その理由は、すべての産業において生業となくなってきたためである。それは、今までは町の中で全てのことが完結していたものが、生活エリアが広がり町域を越えたためである。そういったことを踏まえたうえで今回の合併という話になったと理解している。木之本には、4つの小学校区に分かれているが、合併後は、学区ごとに自分たちのことはまず自分でやってみる、自分たちではどうにもならないことは協力をお願いしていくスタンスでまちづくりをしていきたいと思っている。それぞれの地域が動きやすい、活動しやすいまちづくり施策を考えていただけるとありがたい。
- J 委員 今回の合併は新しいまちをつくるチャンス。合併後の大切なのは、まず人口を増やすこと、最低限維持することだと思っている。それを考えると産業を育てることにつながる。日本電気硝子が進出してから高月町は大きく変わった。高月町における人口維持の根幹となっているのは産業である。新市のまちづくりの議論をしていくにあたっては、それぞれの地域の思いを出してしまうと收拾がつかなくなるので、現状を見極めながら議論していくべきである。
- B 委員 私のこれまでの経験を踏まえると、国際的な企業が進出しても転勤転勤で定住人口は増えないと思う。定住人口を増やすためには、家族にとって住みやすい地域を作るのも方法のひとつ。企業誘致は市の中心に、そのまわりに住宅地を作るといった住宅施策も必要。長浜市に教育・医療を集中させると、他の地域からは病院は遠い、高校も通うのが大変となり、居住地域が偏ってしまう。適度に分散させるためにも、産業施策と住宅施策をセットで考えていかないといけない。
- K 委員 ひとつの町の魅力で観光客に来ていただくことは難しいが、合併して各町の良いところひとつずつ結べば、黒壁に来た観光客に湖北を周遊してもらうことは可能だと思う。その場合、あれもこれもではなく、各町ポイントを一つにしぼったうえで、うちに来てくれたらこんなええことあるでといったおもてなしの心でお客様を迎えることが大切である。

- L 委員 余呉は90%以上を山が占め、大きな工場等もないまちだが、基本的にみんな元気でいきいきとしている。最近では3つの小学校区がベースとなったまちづくりも始まっている。合併後は、12万人都市の中で、ある程度自給自足できる地域となるように、力を貸していただき、上手にまちづくりを仕掛けていただきたいと思っている。また、余呉は、高齢者の人口比率が高いため、高齢者のお世話をすることで雇用を創出するシステムづくりができれば良いと考えている。
- C 委員 合併して各地域が不便になればさらに人口減少が進む。商店等を分散させ、開業医に地域医療を担ってもらうなど、地域ごとにある程度の集積地を作る必要がある。
- G 委員 経済界は市町の境界をあまり気にしていない。気になるのは、従業員が確保できるかどうか、都市計画の線引きなど。自由な経済を促すためには、都市計画を見直すことなども必要になってくるのではないかと考える。
- B 委員 合併して、スケールメリットを生かした事業の実現を期待している。この会では、市の施策として比重の高いものから協議していくべきと考える。
- A 委員 他に意見もないようですので、1回目の分科会は終了させていただきます。次回からは、合併基本計画基本施策の産業分野主要な施策の中からテーマを設け、協議をお願いしたいと思います。次回のテーマは観光交流産業の振興とさせていただきます。